みやぎ復興 官民連携フォーラム

産業復興支援分野

パネルディスカッション

「 **パートナーシップによる**
産業の創造的復興に向けて 」

コーディネーターのご紹介

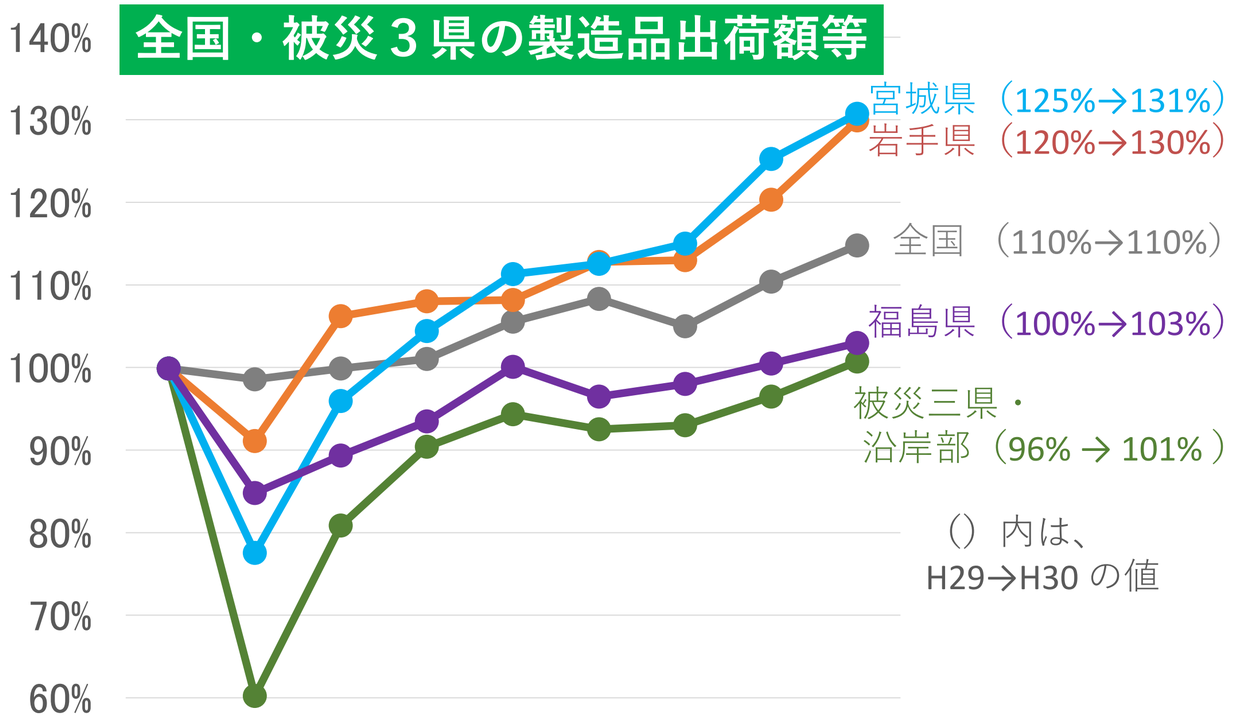
東北大学大学院
経済学研究科　教授

ふくしま　みち
福嶋　路氏

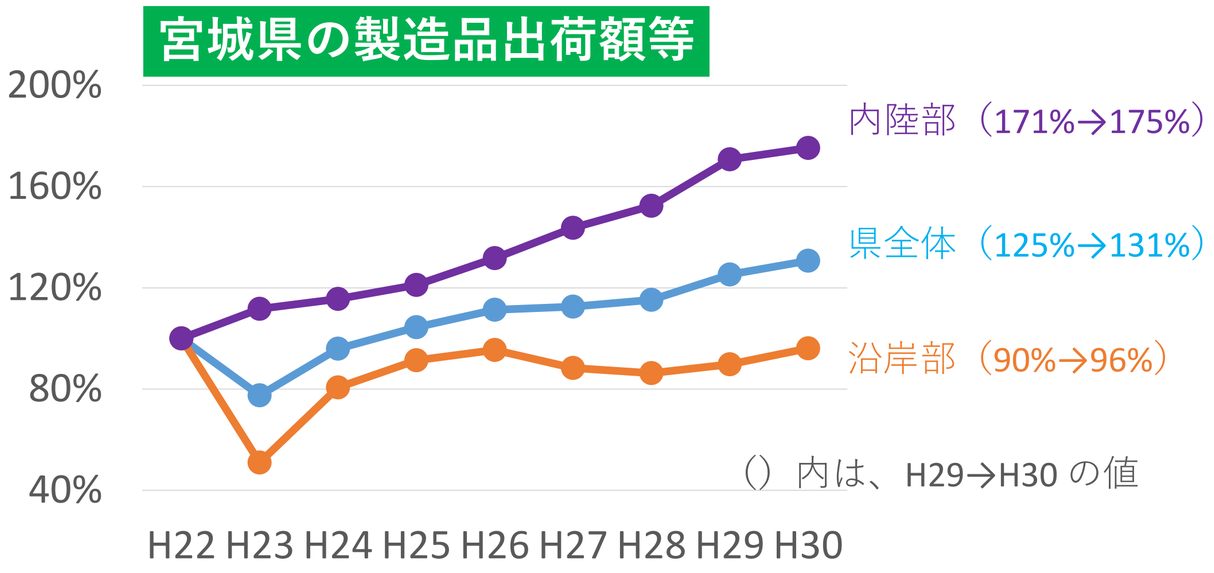
宮城県の復興状況は？

産業復興の状況・・・製造業（製造品出荷額、平成22年比）

全国・被災３県の製造品出荷額等



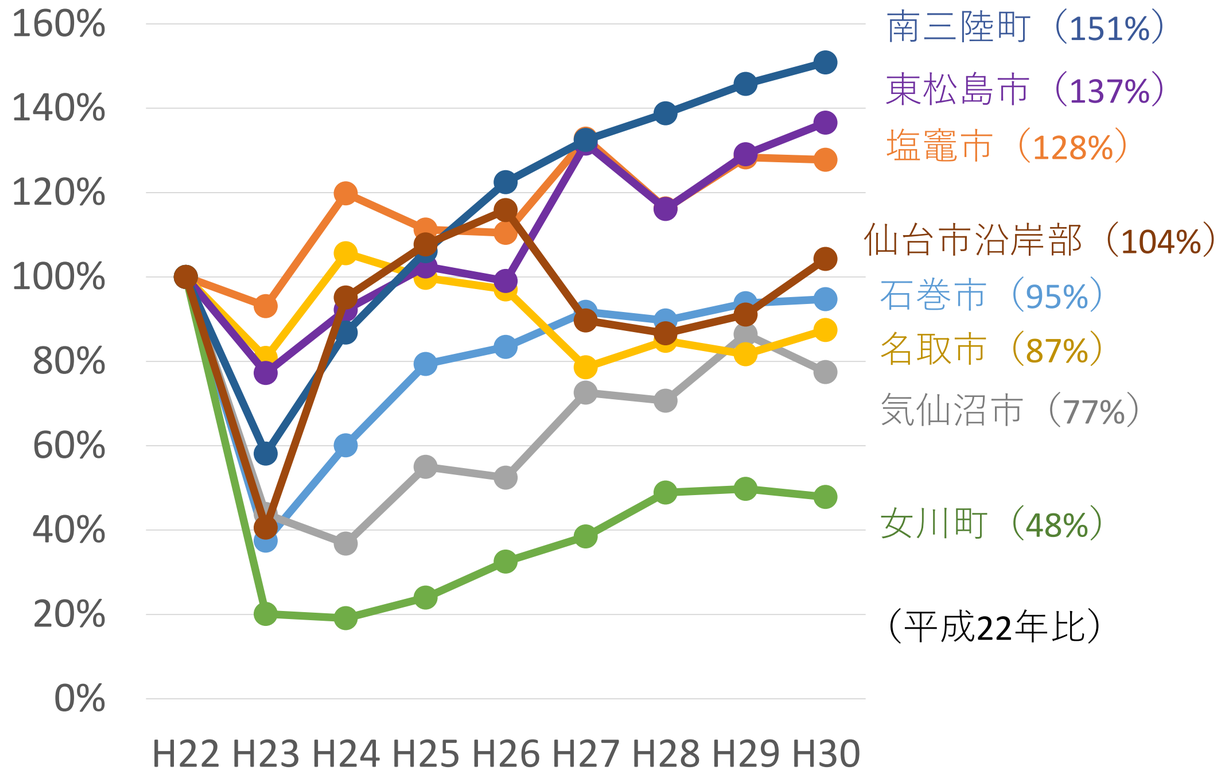
宮城県の製造品出荷額等



○被災3県の製造品出荷額等
- ✓ 概ね震災前の水準まで回復した。
- ✓ 宮城県、岩手県は震災前の水準を約3割上回るまでに回復。

○宮城県の地域別の製造品出荷額等
- ✓ 内陸部は大幅に増加している。
- ✓ 沿岸部は、全体としてみれば、震災前の水準までほぼ回復しているものの、自治体間には状況に幅がある。

沿岸部の主要自治体別の製造品出荷額等



出典：経済産業省「工業統計」
注）（被災三県・沿岸部の市町村）
【岩手県】宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町、【宮城県】仙台市（宮城野区、若林区）、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、亘理町、山元町、松島町、七ケ浜町、利府町、女川町、南三陸町、【福島県】いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楢葉町（※）、富岡町（※）、大熊町（※）、双葉町（※）、浪江町（※）、新地町
（※）調査対象外とされた年があるなど、調査年によっては集計に含まれない。

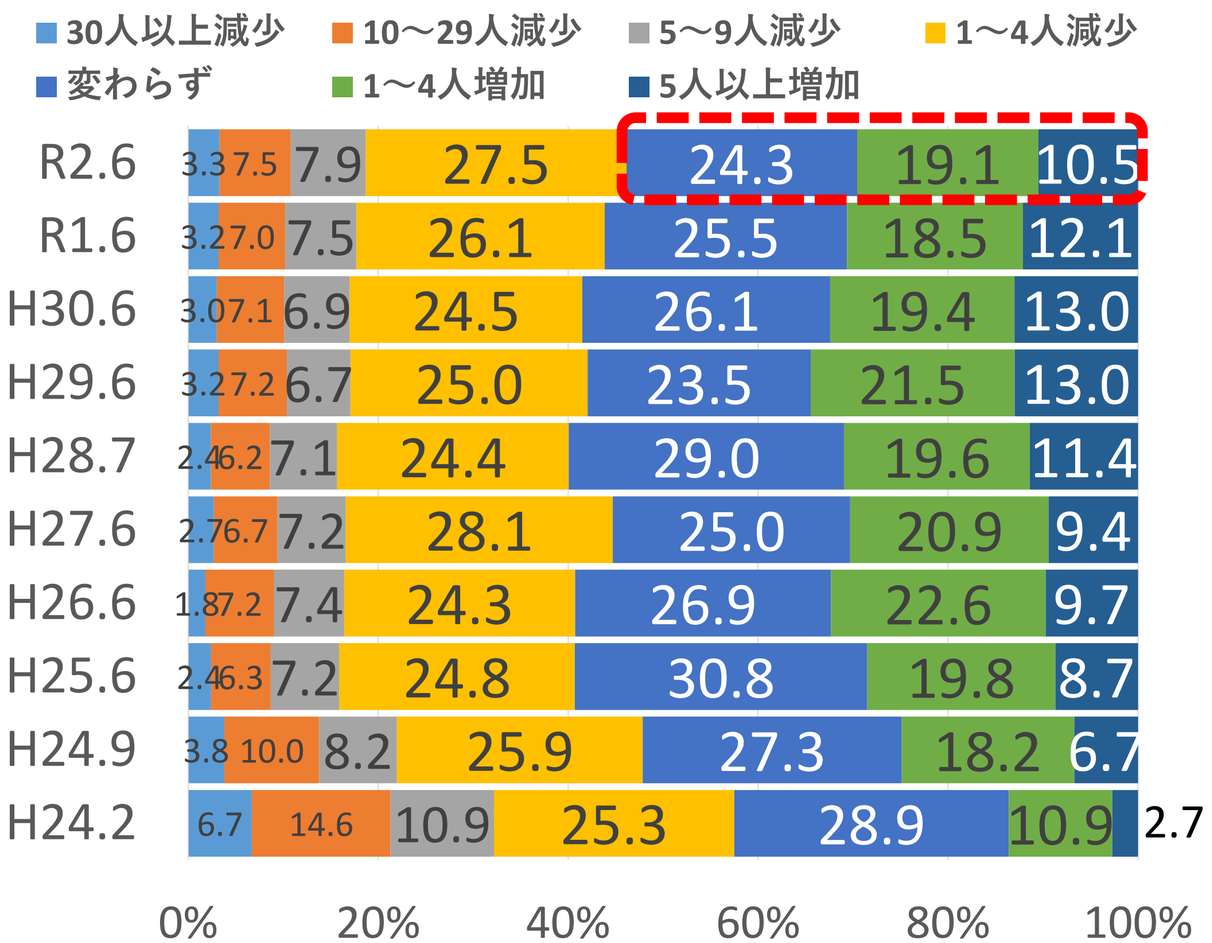
産業復興の状況・・・グループ補助金の実績と交付先アンケート調査

〇宮城県では、361グループ・4,441件，総計2,778億円の交付が決定。8月末現在で92%の事業が完了。
〇グループ補助金を受けた事業者の5割以上は雇用が回復、4割以上は売上げが回復している。

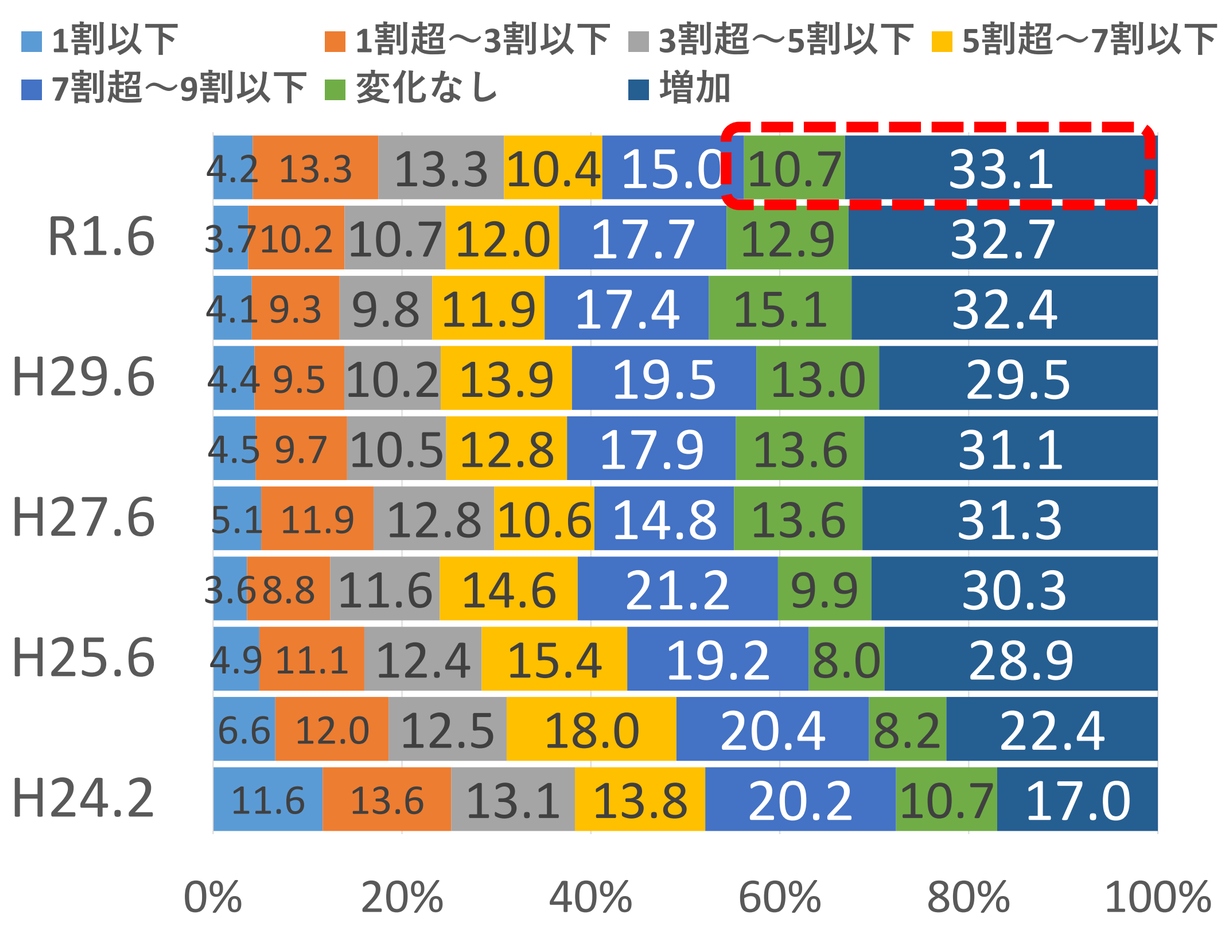
- ✓ 雇用人数の動き（増減）をみると、宮城県では、震災前の水準以上まで回復した事業者の割合が53．9%となっている。
- ✓ 業種別では、建設業、卸小売・サービス業の回復が進んでいる一方で、水産・食品加工業、運送業の雇用の回復が遅れている。

- ✓ 売上状況（増減）をみると、宮城県では震災直前の水準以上まで回復している事業者の割合が43．8%となっている。
- ✓ 業種別では、建設業、運送業の回復進んでいる一方で、旅館・ホテル業、水産・食品加工業、卸小売・サービス業の売上の回復が遅れている。

雇用の動き（震災直前と現在の雇用人数比較）



売上の状況（震災直前と現在の売上高比較）

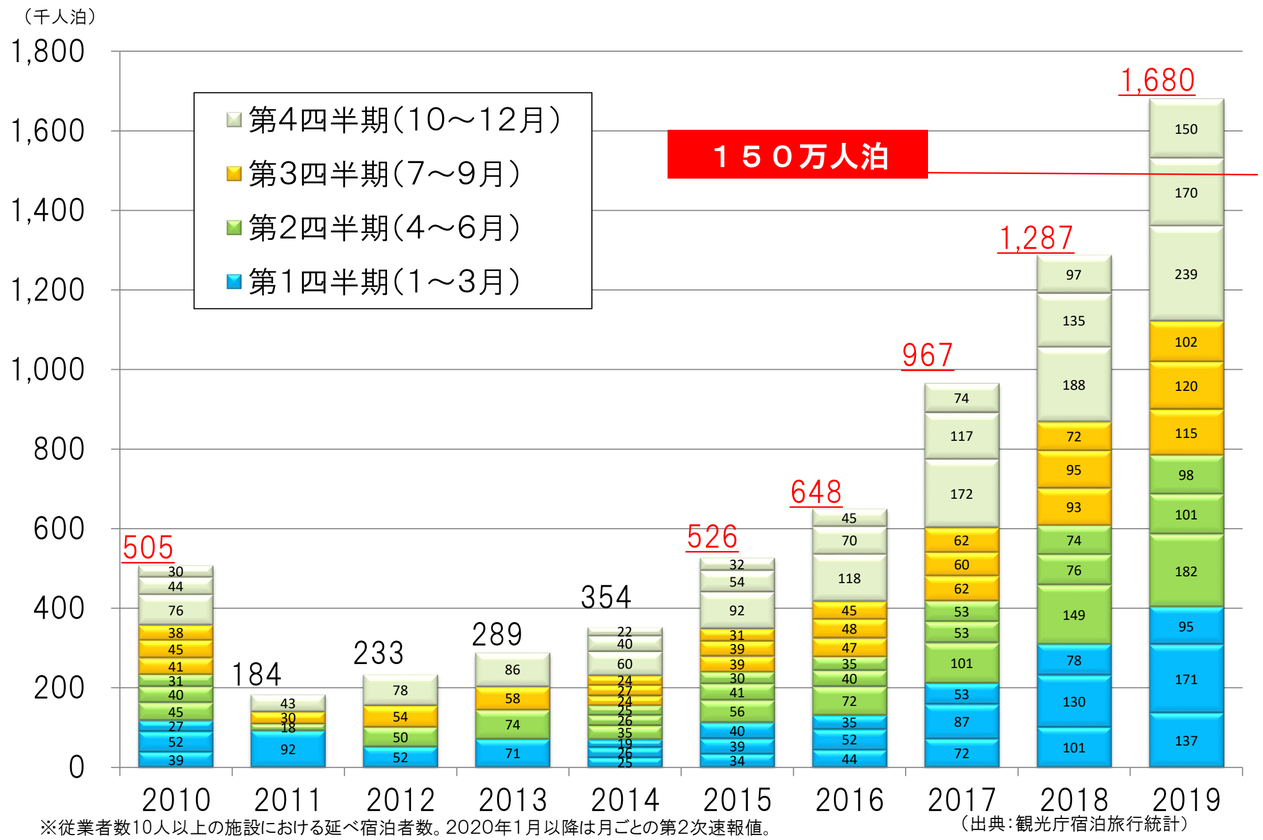


出典：東北経済産業局「グループ補助金交付先アンケート調査」。※回答数は、調査年によって異なるが、宮城県の令和2年は2,518者。

産業復興の状況・・・観光

- ✓『明日の日本を支える観光ビジョン構想会議』(平成28年3月)において、令和2年に東北6県の外国人延べ宿泊者数を150万人泊(平成27年の3倍)とする目標を掲げる。
- ✓ 東北地域の官民が一体となり受入環境整備や訪日プロモーションなどの実施によって、令和元年の東北6県の外国人延べ宿泊者数が1,680,190人泊となり、目標を1年前倒しで達成した。
- ✓ 令和元年における宮城県全体の観光客入込数は67,961千人と前年比3,736千人(5.8%)増加。また、宿泊観光客数は9,888千人と前年比480千人(5.1%)増加し、ともに東日本大震災前のH22年を上回り、過去 最高を記録した。

2010～2019年東北６県の外国人延べ宿泊人数



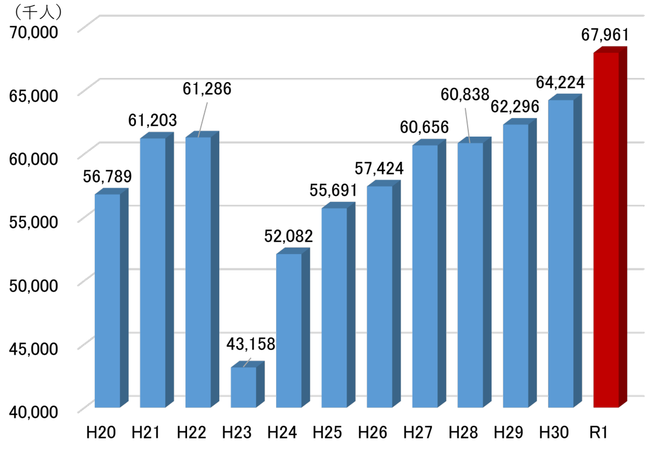
※従業者数10人以上の施設における延べ宿泊者数。2020年1月以降は月ごとの第2次速報値。

(出典:観光庁宿泊旅行統計)

各都道府県別外国人宿泊者数前年比伸び率

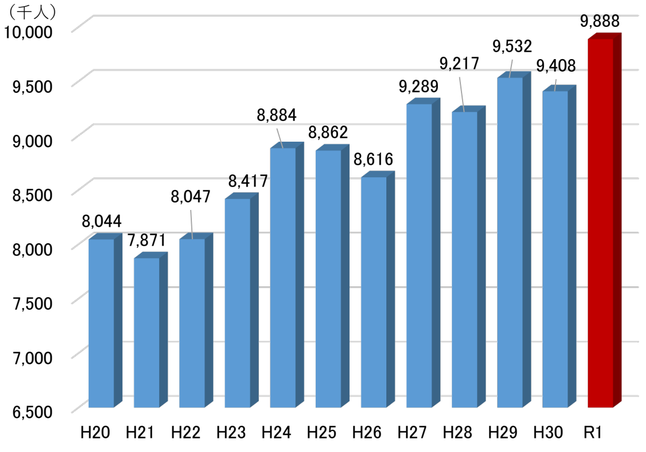
順位	都道府県名	増減率（%）	2018年（人泊）	2019年（人泊）
1	京都府	71.5	5,217,010	8,949,140
2	宮城県	46.7	364,110	534,250
3	山形県	44.3	128,020	184,760
4	静岡県	34.6	1,569,750	2,113,160
5	新潟県	33.4	286,350	381,920
6	愛知県	32.6	2,698,340	3,577,060
7	岩手県	32.5	245,590	325,450
8	香川県	28.4	421,920	541,890
9	奈良県	27.2	345,690	439,610
10	福島県	26.5	141,350	178,810
21	青森県	14.0	296,240	337,620
29	秋田県	6.4	112,160	119,320

宮城県の観光客入込数の推移



(出典:宮城県観光統計概要)

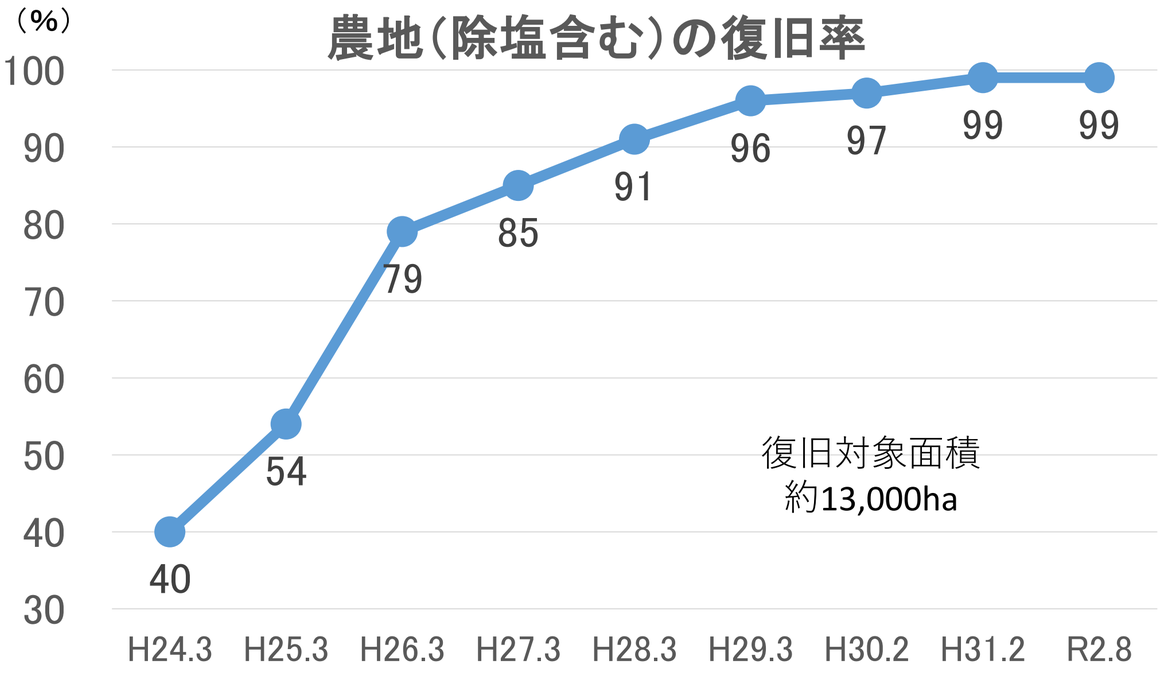
宮城県の宿泊観光客数の推移

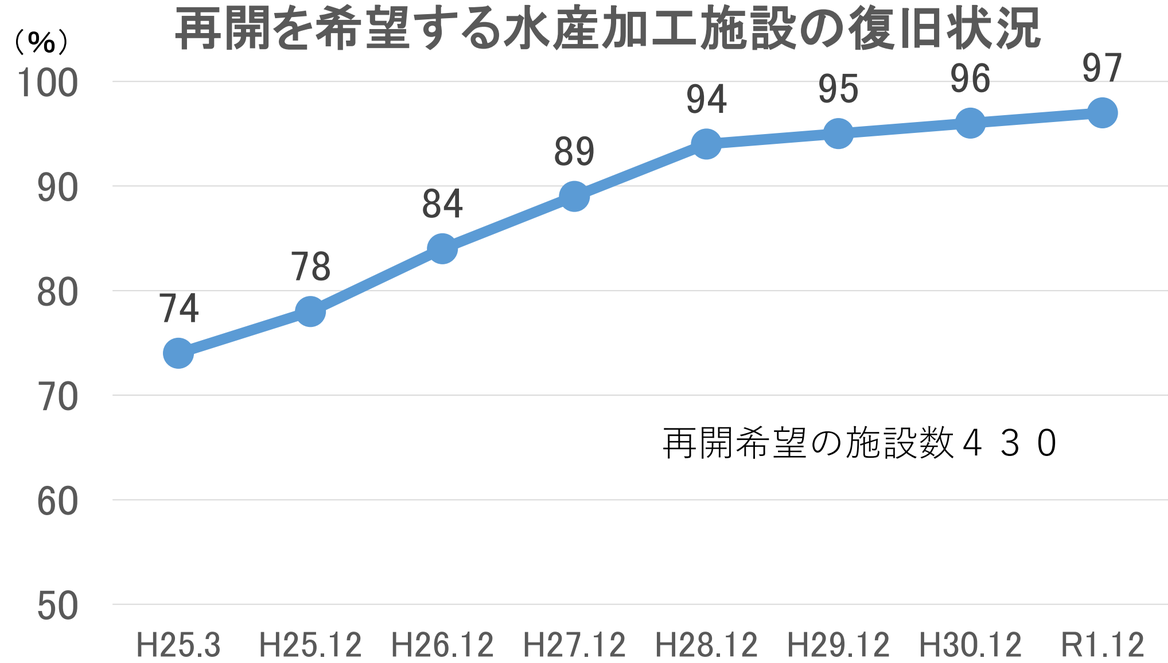


(出典:宮城県観光統計概要)

産業復興の状況・・・農業・水産業

宮城県の農地・農業用施設や、漁港・船舶、水産加工施設は、ほぼ復旧を果たしている。

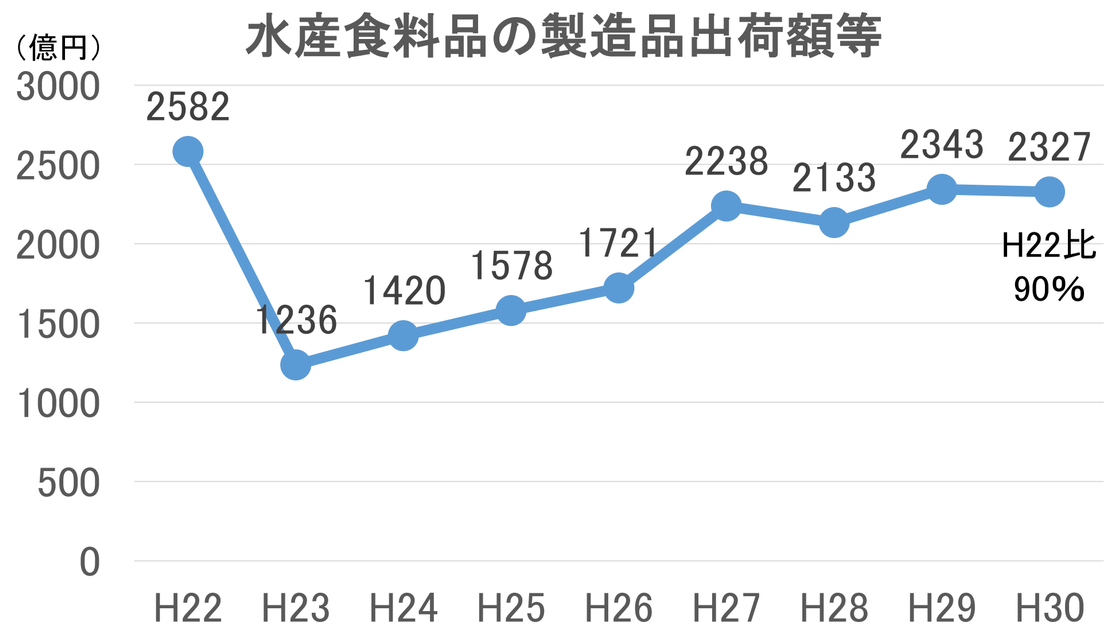




出所：農林水産省

項目	復旧率
農業用施設（排水機場） 69箇所	約98%　46箇所 R2.8現在
園芸（園芸用ガラス室・ハウス復旧面積） 約178ha	100% H30.11現在
畜舎・畜産関連施設（堆肥ｾﾝﾀｰ等） 186施設	100% H31.3現在
漁港（復旧工事） 139港・1251箇所	約91%　1，134箇所 R2.8現在
漁船数 約9，000隻	100%　8，800隻 ※復旧を希望する全ての漁船の復旧が完了 H30.1

出典：宮城県「復興の進捗状況」



出典：経済産業省「工業統計調査」

このパネルディスカッションで
目指したいこと

このパネルディスカッションで目指したいこと

1

地域の産業活性化の観点から
宮城県内における
復興の取組事例を振り返る

2

「連携」に焦点を当てることで
教訓・ノウハウを深掘り
将来像を展望する

↓

宮城の“地域を元気にするビジネス”を発信し
地域の産業活性化のきっかけに！

パネルディスカッションの流れ

1 パネリストを知る

2 これまでの取組を知る

3 今を支えている連携について考える

4 未来を考える

1.

パネリストを知る

パネリスト

阿部 憲子 氏

南三陸ホテル観洋
女将

竹井 智宏 氏

株式会社MAKOTO
代表取締役

松本 裕也 氏

一般社団法人
フィッシャーマン
ジャパン

山本 啓一朗 氏

NEC
東京オリンピック・
パラリンピック推進本部
集まろうぜ。グループ 部長

2.

これまでの取組を知る

3.

今を支えている
連携について考える

4.

未来を考える

さいごに、

ご質問・ご感想をお聞かせください

ご参加いただき
ありがとうございました